

2026年6月16日
損害保険ジャパン株式会社

デジタル保険募集システム「Miracraw」の本格展開を開始 ～内製開発によるシステム導入・運用でパートナー企業の事業展開を加速～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、デジタル保険募集パッケージシステム「Miracraw（ミラクロー）^{※1}」を内製開発しました。これにより、パートナー企業が展開するオンラインサービスへのエンベデッド・インシュアランス（組込型保険）の実装を大幅に簡略化します。「Miracraw」は、デジタル完結による革新的な保険加入プロセスを実現するとともに、パートナー企業にとって導入・運用を容易にし、迅速な事業展開を後押しします。

※1 「Miracraw」は、Miracle（奇跡）+Raw stone（原石）からなる造語です。本システムは、お客さまに合わせて最適な形に磨き上げる保険の可能性を示すものです。

1. 「Miracraw」内製開発の背景

近年、オンラインビジネスの普及に伴い、商品購入やサービス申込に保険を組み込むエンベデッド・インシュアランスが、顧客体験向上と収益多角化の有効な手段として注目されています。

しかし、従来のシステム開発は、個別対応によるコストや期間の増大が課題となっており、保守運用の煩雑さや柔軟な改修の難しさの変化の激しい市場ニーズへの迅速な対応を妨げていました。

損保ジャパンは内製開発によるシステムの標準化を通じて、従来の導入における課題を解消しました。パートナー企業が、安価かつ迅速にエンベデッド・インシュアランスを導入・展開できるよう、「Miracraw」で最適な環境を提供します。

2. 「Miracraw」の概要

従来は、パートナー企業や保険商品ごとに個別のシステム開発・保守運用が必要でしたが、「Miracraw」を共通基盤（ハブ）として提供します。パートナー企業への展開を前提とした標準化により開発効率を飛躍的に高め、開発コストや開発期間を最大80%^{※2}削減できます。

なお、「Miracraw」の主な特長は、以下の3点です。「Miracraw」を通じて損保ジャパンと直接連携することで、より安価な開発コストと短い開発期間でエンベデッド・インシュアランスの導入を実現できます。

（1）システムの内製開発

内製開発により、保険商品・特約の追加を迅速に行えます。

また、業務に精通した開発チームが、損害保険特有の複雑な契約フローを分かりやすくしたUX（User Experience：お客さまが製品・サービスを使用する際に得られる全ての顧客体験）を提供するとともに、基幹システムとのシームレスな連携と効率的な展開・保守を実現します。これにより、システム開発・保守運用時のコスト・期間を削減し、安定したシステム運用を実現します。

(2) API※3 接続仕様の標準化

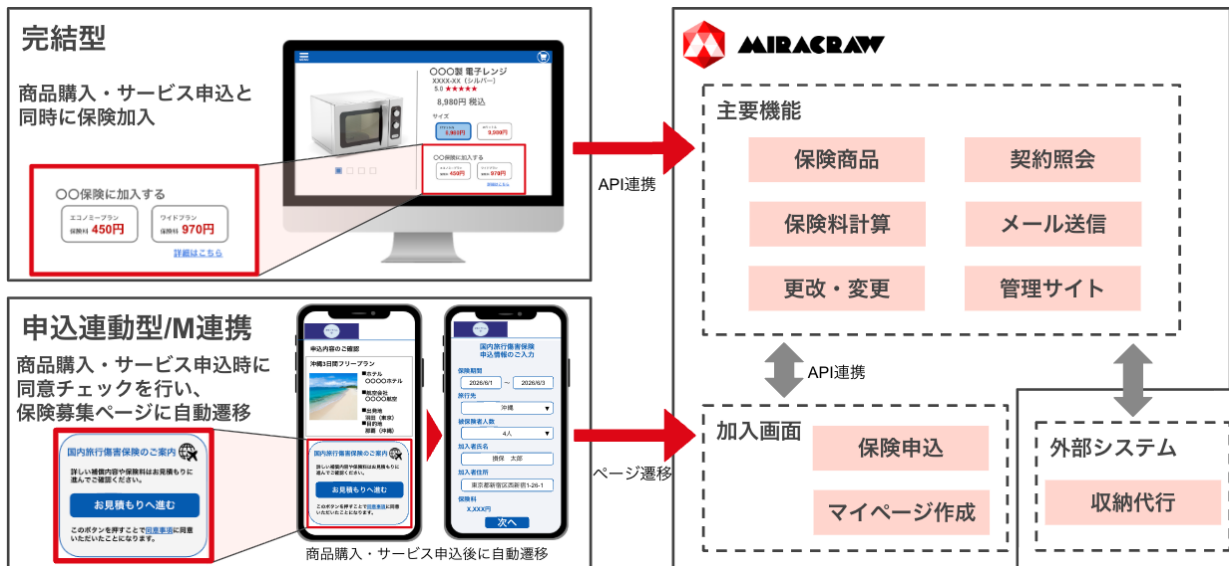
API 接続仕様を標準化することで、パートナー企業自身によるシステム接続が可能となります。基幹システム連携時の効率的な展開・保守を実現するだけでなく、インシュアテック企業を含む社外システムとのAPI 接続仕様も標準化することで、システム連携にかかるコスト・期間を大幅に削減します。これにより、パートナー企業にとって導入しやすく、既存のサービスやシステムとの連携もスムーズな、柔軟なフロント・ミドルシステムの提供を実現します。

(3) パートナー企業との連携を加速するための実装方法の提供

パートナー企業のWEB サイトへ専用のタグを埋め込むだけで連携が完了する「M 連携」を提供します。これにより、システム開発のコスト・期間を極小化したスピーディーな導入が可能です。

お客さまの同意を確認のうえ、パートナー企業の予約画面や購入画面で入力したサービス利用日や予約・購入内容に基づき、保険加入に必要な情報や補償期間を保険申込画面へ自動で反映できます。これにより、パートナー企業のサービスから流れを止めることなく、顧客満足度の高いスムーズな保険加入体験を提供できます。

< 「Miracraw」 を活用したエンベデッド・インシュアランスのイメージ >



※2 損保ジャパンにおいて、個別にシステム開発する一般的な開発コスト・開発期間と比較した数値です。

※3 API (Application Programming Interface) は、異なるサービスやシステムが情報をやり取りするためにアプリケーションをつなぐ機能を提供します。

3. 今後の取組みについて

当社は、「Miracraw」を活用することで、業種を問わずデジタル販路を展開するさまざまなパートナー企業との連携を強化します。これにより、エンベデッド・インシュアランスを迅速に展開し、革新的な加入プロセスを通じて、パートナー企業の新たなビジネス機会と付加価値の創出に貢献します。

中長期的には、デジタル募集の基盤として、オープンなゲートウェイ※4の構築を目指します。

「Miracraw」は団体募集の加入画面への活用なども見据え、パートナー企業にとってより接続しやすく、拡張性の高いシステムを提供します。

※4 ゲートウェイは、異なるネットワークを接続するための仕組みです。異なる通信方式や構造を持つネットワーク間でデータのやり取りを仲介する役割を担います。

以上